

関係者各位

2023年11月1日  
一般社団法人クライメート・ダイアログ

**気候変動が脅かす  
食と農業の未来**

気候影響ブリーフィングシリーズ 第3弾

QRコード **11.15** 水  
18:00 ~ 19:15

**お申込はこちらから**

オンライン開催 CLIMATE DIALOGUE JAPAN

金丸 秀樹氏  
国連食糧農業機関  
気候変動専門官

飯泉 仁之直氏  
農研機構 農業環境研究部門  
上級研究員

廣田 知良氏  
九州大学 大学院農学研究院  
環境農学部門教授

■ 登壇者（敬称略・順不同）

**飯泉 仁之直** 農研機構 農業環境研究部門 気候変動適応策研究領域 作物影響評価・適応グループ 上級研究員

マギル大学地理学部、ブリティッシュコロンビア大学リュー・グローバル問題研究所にて、客員研究員として経験を積む。気候変動が食料生産に与える影響を広域で評価。そのうえで、干ばつなどの極端な気象による穀物生産の変動を予測する情報サービスの開発に向けた研究を、気象機関と共同で行う。

**廣田 知良** 九州大学大学院 農学研究院 環境農学部門 生産環境科学講座 気象環境学分野 教授

専門は農業気象学。北海道で約30年、農業気象の研究をもとに開発した新技術の大規模普及に取り組む。現在は、九州で同分野の研究・教育に取り組む。令和5年度文部科学大臣表彰科学技術賞を農家と共同受賞。令和5年日本学術会公表「気候変動に対する国内農業の適応策と食料安定供給に果たす農業生産環境工学の役割」の執筆主担当を務める。

**金丸 秀樹** 国連食糧農業機関（FAO）気候変動専門官

気象・気候データの農業分野での活用に携わる。主に途上国に対して、農林水産業における気候変動のリスク評価と適応策、減災のための早期警報システムや農業気象サービスなどの支援をしている。

【オンライン参加申込先】 <https://bit.ly/231115-cdj-wb3>

（当日参加が難しいなど録画視聴をご希望の方も、事前登録をお願いします。）

気候変動の影響を直接受けやすく、リスクも大きい分野の一つが、食料生産です。現在、世界各地で深刻な干ばつや豪雨、洪水などが頻発し、農業に深刻な打撃を与えています。

日本でも気候変動の影響が農業技術の進歩を上回り、生産において負の影響が顕在化していると懸念の声が上がっています。

11月15日（水）、気候変動と食・農業の分野をリードする第一人者をお招きし、人為的な気候変動が世界と日本の農業にどのような影響を及ぼしているのか、また適応が求められてきた日本の生産現場がどのような状況に直面しているのかを解説します。

さらに、国連食糧農業機関（FAO）の専門家より、気候変動が世界の食料安全保障にとってどれほどの脅威となるのか、日本はどのような影響を受け、そしてどんな役割を果たすべきなのかについて知見をいただき、食と農業の未来を読み解きます。

#### こんな人におすすめ

- 気候変動、異常気象などを担当する報道関係者
- 農業、経済などを担当する報道関係者
- 自治体などの気象、災害、農業などの担当者
- 農業関係者
- 食料生産、農業に関わる研究者

#### ■ 開催概要

**日時：2023年11月15日（水） 18:00～19:15（日本時間）**  
**対象：報道関係者、農業関係者、行政担当、農業・食料研究者など**  
**形式：オンライン（Zoom、事前登録でアーカイブ視聴あり）**  
**主催：一般社団法人クライメート・ダイアログ/GSCC Japan**  
**後援：国連広報センター**

【参加申込先】 [ZOOMリンク](#)

#### ■ お問い合わせ先

一般社団法人クライメート・ダイアログ/GSCC Japan  
芝田 [tomomi.shibata@gscnetwork.org](mailto:tomomi.shibata@gscnetwork.org)

---

#### 一般社団法人クライメート・ダイアログ/GSCC Japanとは

戦略コミュニケーションを専門として気候変動とその解決策を社会の議論の中心に据え、もって脱炭素社会の構築に貢献することを目的とする一般社団法人。非営利組織として2020年に設立。世界20か国以上のコミュニケーション専門家の国際ネットワークGlobal Strategic Communications Council (GSCC：国際戦略コミュニケーション評議会)の日本代表部。グローバルおよび各国のメディアの議論、公共の議論・世論に焦点を当てる。気候科学と気候変動の影響、食料と資源、金融と経済、エネルギー、交通、産業、多国間気候交渉プロセスなどのテーマを扱う。